

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年6月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4611010648
法人名	医療法人 微笑会
事業所名	グループホーム えがお
所在地	指宿市十町2392-2 電話0993-22-4090
自己評価作成日	平成24年3月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54-15
訪問調査日	平成24年4月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様にとっては隣接している田畑クリニックの24時間医療支援を受けられ、ご希望によりターミナルまで過ごすことができます。また、同法人のDrが認知症サポート医であるため認知症に於いては意見や指導が望めます。そのため認知症の軽減が見られ穏やかな生活が出来ます。職員に於いても日々質の向上のため法人全体朝礼での認知症の勉強会や院内や院外の研修会に参加して、より良い認知症介護をめざしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 地域密着という理念を確認しながら業務を進めており、無理なく自然に地域での存在を確立し、溶け込んでいることがうかがわれる。
- 記録類がしっかりと整理されており、漏れのない業務がサービスの確認や自覚へとつながっている。
- 医師との関係も利用者本位をめざしながら、きちんと了解を得てサービスにつとめており、利用者・家族の安心につながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝礼時、全員で理念を唱和することで、理念の意義を確認し、日々の実践につなげている。	昨年の外部評価結果を受けて、理念を職員間で話し合いの上で地域密着という表現を織り込み作成し、改めて朝礼やミーティングでその意義を確認し合っている。玄関や事務所に掲示すると共に、パンフレットにも記載して外部の理解にも努めている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域の行事への参加の他地域の方々の訪問やボランティアの受け入れなどにより交流をしている。	自治会に加入しており、回覧板より地域の情報も得られている。主催しているでんちゃん祭りは10回目となり、地域の住民や家族が多数参加して盛り上がりを見せている。近隣住民からは農産物の差し入れも常時あり、ボランティアの来訪も多く利用者はこれらの機会を楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人全体で毎年実施している祭りの中で、寸劇などを通して伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地区の公民館長や民生委員の他に必要に応じて消防や警察にも参加して頂き意見や助言をもらいサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回の開催で地区公民館長や民生委員、家族代表、市の職員などが参加している。外部評価の報告もなされ、提示された家族の希望が改善に結びついた事例も見られる。会議の内容は職員で共有して具体的な業務改善やサービスの向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	何か問題が生じた時の相談などいつでも相談をし助言や協力を頂いている。	運営推進会議にはほぼ毎回参加して頂いていると共に、市の担当者を訪問して利用者の状態や問題を相談して解決の糸口を見出すことや必要に応じてアドバイスを受けるなど協働して改善に取り組んでいる。また、施設のPRも行い理解を深めて頂くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全職員が正しく理解しているが利用者の健康や生命に関る場合はご家族同意の元につなぎ服の着用を一時的に行っている	職員間で資料を集めて研修を行うと共に、施設長からも常にブログで指導を頂き身体拘束に関する意識を高めている。やむを得ず利用者の保護のため、ろう便に対してはつなぎ服、外出に対する柵の設置などは家族にも理解を得て実施している。可能な限り職員で連携して散歩をするなどして拘束を和らげる努力も行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法については全職員が研修などにより理解しており防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職場内での勉強会で学び利用者や家族にも必要性を話している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者が十分に説明し理解を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	サービス担当者会議の他いつでも自由に意見や要望を直接又は電話で受け入れ運営に反映させている。	利用料の支払い時や家族の帰郷時に、できるだけ直接対話して、意見や希望を聞くことに努めている。把握できた意見や希望は個人台帳に記入し、職員間で確認、共有して必要な対応につなげている。アンケートでも意見や希望を確認した事例もあり、これらの結果は「えがお通信」でご家族にもお伝えし、本人やご家族に納得頂いている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日の朝礼や月1回のミーティングを利用し、意見や提案を聞き全員で検討している。	管理者は、年間計画立案の際は職員と一緒に考える機会を持ち、ミーティングでは話しやすい雰囲気作りに努めている。個人的な相談も上司が可能な限り対応に努力して解決できるように取り組み、職員もスムーズに日常業務を遂行できている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者側の者が計画作成担当者として勤務しているので職員の勤務態度など把握しやすく、改善策もとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の介護レベルに応じて法人内外の研修を受けるようにしている。また、ヘルパーなどの資格を働きながら取るよう働きかけている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>鹿児島県グループホーム協議会に入会しているのので、県の指導者の研修会で同業者と意見交換をしてサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントの情報収集の段階で、信頼関係を築く中で本人の思いを少しずつ話してもらうようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前と入所後家族と十分に話し合い安心して頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	例えば帰宅願望が異常に強い利用者の場合は、帰宅しなければならない理由を探りその解決に結びつく支援を見極める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者によっては持ちつ持たれつの関係にある人もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	奥様を入所させている方で10日毎に自宅に1泊することでご自分も介護に関わり共にご本人をささえている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や親戚、近所の友人等の面会や外出などの支援をしている。	本人や家族から確認できた情報は、フェイスシートに細かく記載し、利用者にとって「馴染み」という関係を大切に支援できるように努めている。面会、近隣の外出、電話などに関する希望はもとより、墓参りや美容院などへの外出も希望に沿って対応するなど、これまでの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	介護5の利用者も全員ホールで他の方々と一緒に食事やお茶、レクリエーションをして交流を図っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	死亡退所だけではなく他の施設へ移った利用者にも時々面会に行きなじみの関係を保っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや希望などを直接又は介護職員からの情報から把握している。	入所時に思いや暮らしの希望を細かく聞き取ると共に、必要に応じて繰り返し確認し、3ヶ月に1回のモニタリングで再確認している。日常会話やしぐさ・表情からも把握に努め、常に利用者によりその姿勢を持ち、職員間で確認・共有して記録に残している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人と家族と話をする中で少しずつ、これまでの生活暦や暮らし方などの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしの状況と夜勤者の報告などから現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の暮らしの中で本人の様子を観察し、問題があれば毎日の朝礼や月1回のミーティングの場で意見を出し合いそれを基に介護計画をたてている	3ヶ月に1回の担当者会議で介護計画を見直し、その人らしい生き方を応援するためにそれぞれの人に合わせた対応を工夫している。変更があったらミーティングや申し送りで確認し、常に観察の眼をしっかりと持つように心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の朝礼や月1回のミーティングの場で職員間で情報を共有しながら、日々の実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況は日々少しずつ、あるいは急激に変化しているので、柔軟な対応を心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民の方々のボランティアによる踊りや子供会の訪問などにより気持ちが元気に明るくなっているので、今後も続けていきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅総合診察を利用し、2週に1回定期的に受診している。また、週1回の医療連携により看護師の健康チェックを受け異常時は即医師が対応している。	母体の医療機関がかかりつけ医になっているが、希望や状態に応じて適切な医療が受けられるように支援している。受診後は返書をもらうシステムを作り、受診記録も添付して職員間で内容を共有している。また、必要に応じて適宜同行受診も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携により看護師に情報提供し、また看護師からの指導・助言をもらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際には病院との情報交換をしている。入院が長引くような時は退院後の対応についても相談している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>サービス担当者会議のばで毎回ご家族によく説明し理解していただいている。</p>	<p>ケアプランの作成時に「終末期に対する意向」で確認すると共に、年1回介護認定の更新時に本人、家族の意向を再確認して「看取り時の指針」で同意書を得ている。また、重要事項説明書にも記載しており、契約時に内容の説明を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時にはすぐに対応しているので大事には至らない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な訓練を行っている。地域の消防団にも協力をお願いしている。</p>	<p>火災、夜間を想定して年2回、校区や消防署の協力を得て訓練を実施している。訓練は母体の病院と合同で実施する場合もあり、非常時に備えたカップめん、水、食材など備蓄も十分で、24時間連絡体制も整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃より心がけて実施している	利用者の尊厳と権利を守ることは業務のモットーとしており、マニュアルもきちんと整備して、誇りやプライバシーの保護に取り組んでいる。また、個人の記録作成や保管管理にも十分に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	いつも利用者の近くに職員がいるように心がけ、ご本人が自分の思いや希望を訴えられるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々業務優先にならないよう心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい身だしなみができるよう家族に衣類の準備を依頼している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一部の利用者が食事の準備を手伝っている	職員と利用者が一緒に同じ食事を会話を楽しみながらとっている。利用者の状態に応じてミキサー食などにも対応し、言葉をかけながら食事介助等の支援をしている。また可能な利用者には、もやしの根つみやエプロン・おしぼりのたたみなど手伝ってもらうようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	クリニックの管理栄養士の指導により、栄養バランス、水分の確保をしている。一人ひとりの嚥下能力に応じた食餌形態にしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨き、義歯洗浄口腔ケアを行っています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレやポータブルトイレで排泄できる人はできるだけ続けられるよう支援している	オムツはリハパンツに変更するなど、自分でトイレで行けるよう最小限の支援に努めている。個々の状態に合わせて観察をしながら声掛けのタイミングをはかり、トイレ誘導などさりげなく丁寧な声掛けを心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	加齢に伴う直腸の働きの低下により便秘になる方が多い。ホームでは、食物、水分の取り方や運動などの他、便秘薬の服用でコントロールしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週間日課表の中で一応の計画は立てているが本人の希望により柔軟に対応している	利用者の状態や希望に合わせて、シャワー浴や足浴へ対応したり、いつでも入浴できるように臨機応変に支援している。また、入浴を拒否される場合には、時間をかけてゆっくり話をするなど、利用者本位の支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣などにより休みたい時に自由に休めるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人の利用者のみ服薬の理解があり効果についても伝えてくれるが他の方は全く理解されない		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や嗜好を把握し、歌やレクリエーションなど心から喜んでもらえるよう支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族の協力により各々外出や外泊を楽しんでいる	年間計画に外出支援を盛り込んであるが、利用者本人やご家族の希望に沿って可能な限り外出を支援している。日常的にホームの周辺の散歩にも出かけ、家族が命日には自宅に連れて帰るケースもあり職員は柔軟に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外でお金を使うことはないが財布に入れて大事に持っていることで安心して利用している利用者もいる他の方は介護度が高く理解できない		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の希望があれば使えるように支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや玄関には季節の花や利用者の作る（習字や絵）などを飾りほっとする空間となっている	採光は十分な状況で明るく、居間には2ヶ所に出入り口があり、広々とした空間で、壁には絵や書道の作品が飾られ、くつろいでゆったり過ごせる環境である。入所者の話には支障が生じない程度の音楽を静かに流している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでは食事用のテーブルと椅子の他にソファが置かれ好んで座ってくつろいでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人で居室で過ごす時に必要な椅子とテーブルを置いたり家族の写真や花を飾るテーブルを置いている利用者もいる	ベッドと備え付けのクローゼット以外は利用者の希望の家具、調度品を持ち込み、本人が居心地よく過ごせる部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリーで、廊下やトイレ、浴室にも手すりが付き、自分で歩けるようにしている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない